

渋川市伊香保温泉観光施設事業経営戦略
(令和6年度～令和15年度)

令和6年3月
群馬県渋川市
(産業観光部観光課)

目次

第1章 経営戦略策定の趣旨	1
1 経営戦略策定の背景と目的	1
2 計画期間	1
第2章 現状と課題	2
1 施設の概要	2
(1) 渋川市営伊香保ロープウェイ	2
(2) 渋川市営伊香保温泉駐車場	3
(3) 渋川市伊香保温泉浴場石段の湯	5
2 現在の経営状況	6
(1) 利用者の状況	6
(2) 収支の状況	8
(3) 収益的収支の状況	8
(4) 資本的収支の状況	10
3 将来の事業環境	11
(1) 利用者数の見通し	11
(2) 施設の更新等に関する見通し	13
第3章 経営の基本方針	14
1 経営の効率化、健全化について	14
2 施設の有効活用について	14
第4章 投資・財政計画	14
1 投資・財政計画（収支計画）	14
2 収支計画のうち投資について	15
3 収支計画のうち財源について	15
4 収支計画のうち投資以外の経費について	15
第5章 経営戦略の事後検証、改定等	15
（別紙）収支計画・地方債償還計画・修繕工事計画	16

第1章 経営戦略策定の趣旨

1 経営戦略策定の背景と目的

渋川市伊香保温泉観光施設事業は、旧伊香保町が運営していたロープウェイ、公営駐車場及び日帰り温泉の3施設を平成18年（2006年）2月の市町村合併時に渋川市が引き継ぎ、運営している事業です。

伊香保町は、古くから遊興保養地として隆盛し、現在も県内外から多くの旅行者が「伊香保温泉」を目当てに渋川市を訪れます。本事業についても、健全な経営を維持しながら、伊香保温泉を訪れる方や地域住民のためのサービス向上に取り組んでいるところです。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少や、交通網の整備による近隣観光地のアクセス向上等により、伊香保温泉を取り巻く環境は今後厳しいものになることが予想され、本事業で運営している施設についても、より一層のサービス向上や新たなニーズに即したサービス提供が求められます。

また、施設の開設から年数が経過し老朽化が著しく、今後設備等の更新に多額の費用が発生することが見込まれるため、計画的な財政運営を行っていく必要があります。

全国各地の公営企業でも、同様に経営環境が厳しさを増している状況にあります。このため総務省から、将来にわたって安定的に事業を継続していくための、中長期的な基本計画である「経営戦略」の策定について、「公営企業の経営に当たっての留意事項について」（平成26年（2014年）8月29日付自治財政局公営企業課長、公営企業経営室長、準公営企業室長通知）が発出されています。

渋川市伊香保温泉観光施設事業においても、これからの経営環境の変化に対応するべく、更なる経営の効率化と健全化を図るための中長期的な経営計画が必要であることから、経営戦略を策定しました。

2 計画期間

経営戦略は中長期的な経営の基本計画であり、10年以上を基本としていることから、令和6年度（2024年度）から令和15年度（2033年度）までの10年間を計画の対象期間とします。

ただし、定期的に計画の見直しを行うとともに、社会情勢の変化等により著しく現状とかけ離れる場合には、随時見直しを行うこととします。

第2章 現状と課題

1 施設の概要

【伊香保温泉マップ】



(注) マップ内の駐車場のうち、河鹿橋駐車場、ハワイ王国公使別邸前駐車場及び徳富蘆花記念文学館駐車場の3つは、伊香保温泉観光施設事業とは別の事業で管理運営しているため、本経営戦略の対象外となる。

(1) 渋川市営伊香保ロープウェイ

伊香保ロープウェイは、普通索道として昭和37年(1962年)に旧伊香保町の観光開発を推進するために開設した施設で、21人乗りの客車が全長499mを約4分間かけて走行します。安全統括責任者や索道技術管理者の有資格者を設置し、鉄道事業法に則り安全の確保を第一として、市が直営で管理しています。

山麓に位置する不如帰駅では、平成13年(2001年)に観光案内等を目的とした5階建ての施設を増設しました。また、山頂の見晴駅には群馬県立伊香保森林公園・展望台・群馬県総合スポーツセンター伊香保リンクなどがあり、周辺の散策や関東平野を一望することができ、平成21年(2009年)に増築工事を行いました。

施設名	伊香保ロープウェイ ^{ほととぎす} 不如帰駅	建築年月	(駅舎)昭和37年(1962年)7月 (案内所)平成13年(2001年)1月		
構造	鉄筋コンクリート造 地上5階建	建物取得額	(駅舎)51,731,750円 (案内所)173,286,700円 (合計)225,018,450円		
敷地面積	1984.65 m ²	延床面積	860.32 m ²		
職員数	18人(常勤職員5人、会計年度任用職員13人) ※ロープウェイ全体の職員数				
利用時間	午前9時から午後6時まで				
利用料金	1 ロープウェイ乗車運賃				
	区 分		往 復	片 道	
	普通運賃		大人(中学生以上)	830円	500円
			小人(小学生以下)	410円	250円
	団体運賃	学生団体	大人(中学生以上)	670円	400円
			小人(小学生以下)	370円	220円
		上記以外の団体	大人(中学生以上)	750円	450円
			小人(小学生以下)	370円	220円
2 ほととぎすホール等使用料 1時間につき1,000円 (不如帰駅の各階にホール・ギャラリーがあり、有料の催し、物品販売等で利用する場合は有料)					

施設名	伊香保ロープウェイ ^{みはらし} 見晴駅	建築年月	昭和37年(1962年)7月 (増築工事) 平成21年(2009年)3月	
構造	鉄筋コンクリート造 地上1階建	建物取得額	(当初)52,475,900円 (増築)25,569,650円 (合計)78,045,550円	
敷地面積	845.19 m ²	延床面積	380.71 m ²	

(2) 渋川市営伊香保温泉駐車場

伊香保温泉駐車場は、伊香保温泉街中心部の石段街にある石段アルウィン公園周辺の4つ(西、北、内、東)の駐車場と、八千代橋駐車場、伊香保ロープウェイに隣接する2つ(物間、常磐)の駐車場の合計7箇所あり、市が直営で管理しています。主に自家用車や大型バスでの観光目的の利用や月極駐車場として利用されており、伊香保ハワイアンフェスティバル等のイベント会場としても利用されます。

石段アルウィン公園西、北、内駐車場及び八千代橋駐車場は、普通車用のコインパーキングです。石段アルウィン公園西、北、内駐車場は、受益者負担の観点から平成 28 年（2016 年）8 月に有料化しました。八千代橋駐車場は、観光客の多い時期の駐車場不足の問題を解消するために、令和 2 年（2020 年）2 月に新たに開設しました。

石段アルウィン公園東駐車場は、大型バス用の時間貸及び泊留用駐車場で、平成 28 年 8 月に有料化しました。日中は管理人（シルバー人材センターに委託）が常駐し、料金徴収等の管理業務を行っています。

物間駐車場は、普通車用の時間貸及び泊留用駐車場で、日中は管理人（シルバー人材センターに委託）が常駐しています。

常磐駐車場は、月極駐車場で主に近隣の旅館等で働く方が利用しています。

施設名	石段アルウィン公園西駐車場	石段アルウィン公園北駐車場	石段アルウィン公園内駐車場	八千代橋駐車場
台数	普通車 10 台	普通車 24 台、 軽自動車 3 台	普通車 9 台	普通車 39 台
用途	時間貸（コインパーキング）			
料金	2 時間まで 500 円、以降 1 時間につき 100 円			
職員数	0 人			

施設名	石段アルウィン公園東駐車場	物間駐車場	常磐駐車場
台数	大型バス 4 台、中型バス 2 台、 身障者用 4 台	普通車 59 台、軽自動車 1 台、 身障者用 2 台	普通車 65 台
用途	時間貸・泊留（大型車用）	時間貸・泊留（普通車用）	月極
料金	2 時間まで 1,010 円、以降 1 時間につき 200 円、泊留 2,030 円	（普通車）2 時間まで 300 円、以降 1 時間につき 100 円、泊留 810 円 （二輪車）2 時間まで 100 円、以降 1 時間につき 100 円、泊留 300 円	1 月あたり 4,190 円
職員数	0 人（時間貸の料金徴収業務はシルバー人材センターに委託）		

（観光イベント利用料金）

石段アルウィン公園東駐車場：6,060 円（全面利用・1 日当たり）

物間駐車場及び常磐駐車場：各 18,000 円（全面利用・1 日当たり）

(参考) 伊香保温泉マップに掲載されているその他の駐車場の概要

施設名	河鹿橋駐車場	ハワイ王国公使別邸前駐車場	徳富蘆花記念文学館駐車場
台数	普通車 18 台	普通車 3 台、身障者用 1 台	普通車 70 台、大型バス 5 台
用途	河鹿橋来訪者用	施設利用者用	時間貸・泊留（普通・大型車）
料金	無料	無料	（普通車）2 時間まで 300 円、以降 1 時間につき 100 円、泊留 800 円 （二輪車）2 時間まで 100 円、以降 1 時間につき 100 円、泊留 300 円 （大型バス）2 時間まで 1,000 円、以降 1 時間につき 200 円、泊留 2,000 円

(3) 渋川市伊香保温泉浴場石段の湯

石段の湯は、昭和 55 年（1980 年）に実施された伊香保温泉街の全面改修に併せて昭和 57 年（1982 年）に開設した日帰り温泉施設で、市が直営で管理しています。石段街に面しているため、観光客が気軽に立ち寄れる施設となっており、平成 15 年（2003 年）には浴室や脱衣室等の増築を含めた大規模改修を実施しました。

また、石段の湯では「黄金の湯」という源泉を使用していますが、黄金の湯の権利を管理する伊香保温泉小間口権者組合から、第三者へ施設を譲渡や貸与しないことを条件として、無償で源泉の提供を受けています。

施設名	伊香保温泉浴場石段の湯	建築年月	昭和 57 年（1982 年）3 月 （大規模改修） 平成 15 年（2003 年）3 月												
構造	鉄筋コンクリート造 地上 2 階建	建物取得額	77,707,300 円												
敷地面積	776.43 m ²	延床面積	379.06 m ²												
職員数	9 人（会計年度任用職員 9 人）														
利用時間	（4 月から 10 月まで）午前 9 時から午後 9 時まで （11 月から 3 月まで）午前 9 時から午後 8 時 30 分まで														
利用料金	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用料金（1 回）</th> <th>回数券（10 枚綴り）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大人</td> <td>410 円</td> <td>3,100 円</td> </tr> <tr> <td>小人</td> <td>200 円</td> <td>1,500 円</td> </tr> <tr> <td>障がい者・市内高齢者（65 歳以上）</td> <td>100 円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区分	利用料金（1 回）	回数券（10 枚綴り）	大人	410 円	3,100 円	小人	200 円	1,500 円	障がい者・市内高齢者（65 歳以上）	100 円	
区分	利用料金（1 回）	回数券（10 枚綴り）													
大人	410 円	3,100 円													
小人	200 円	1,500 円													
障がい者・市内高齢者（65 歳以上）	100 円														

※令和 6 年度に利用時間および利用料金の改定を予定。

2 現在の経営状況

(1) 利用者の状況

各施設の利用者数の推移及び利用者の内訳は以下のとおりです。ロープウェイは約14万人、駐車場は約10万台、石段の湯は約8万人の数値で推移していましたが、令和2年度(2020年度)は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に利用者が減少しており、令和2年度利用者数の対前年度比は、ロープウェイは63%、駐車場は87%、石段の湯は48%となりました。令和4年度の利用者数は若干の回復基調となり前年度対比は、ロープウェイ130%、駐車場119%、石段の湯127%となりました。

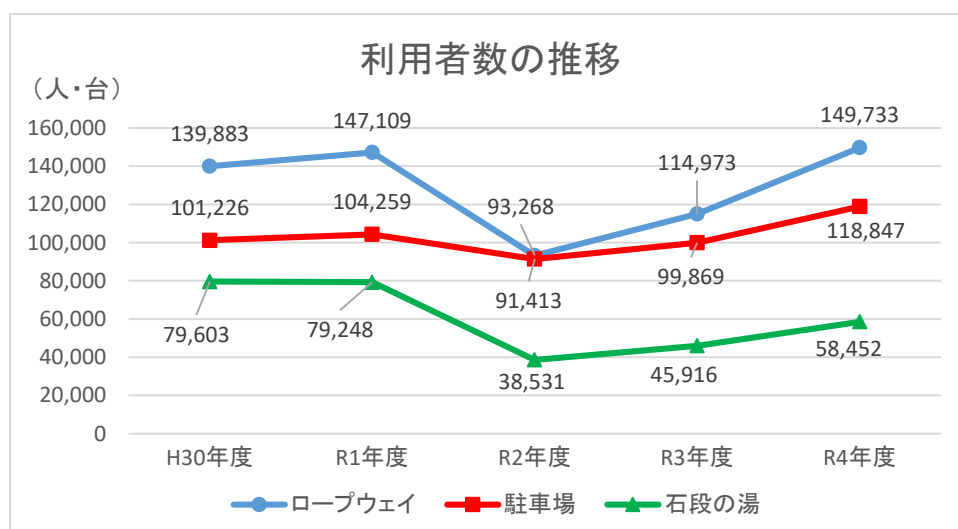
【利用者数の推移】

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
ロープウェイ	139,883人	147,109人	93,268人	114,973人	149,733人
駐車場	101,226台	104,259台	91,413台	99,869台	118,847台
石段の湯	79,603人	79,248人	38,531人	45,916人	58,452人

ロープウェイは、点検、工事、天候不良等により運休することがあります。工事による長期運休は、平成30年度(2018年度)に23日間、令和2年度(2020年度)に79日間ありました。また、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令されたことに伴い、令和2年4～5月に計33日間運休しました。

駐車場は、イベント開催や天候不良等により一部を終日閉鎖することはありますが、全駐車場を同時に閉鎖することはなかったため、営業日数は365日としています。

石段の湯は、定休日(毎月第2及び第4火曜日)のほか工事等により休館することがあります。また、ロープウェイと同様に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令に伴い、令和2年4～5月に計33日間休館しました。



【ロープウェイの利用者内訳】

(単位：人)

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
大人	片道	11,695	12,147	6,779	10,683	16,032	
	往復	118,228	126,346	81,874	97,696	124,302	
小人	片道	573	589	372	567	894	
	往復	5,668	5,382	4,092	5,322	6,388	
団体	大人	片道	279	97	0	47	0
		往復	2,172	1,622	0	86	608
	学生	片道	0	0	37	0	29
		往復	34	0	0	202	66
	小人	片道	26	19	0	5	0
		往復	154	56	0	2	282
提携企業発行券利用者		654	582	77	264	850	
無料利用者		400	269	37	99	282	
合 計		139,883	147,109	93,268	114,973	149,733	

※ 往復利用の場合、利用者数は片道の乗車それぞれを一人として集計している。

【駐車場の利用者内訳】

(単位：台)

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
石段アルウィン公園西		11,776	11,995	10,172	11,117	13,695
石段アルウィン公園北		57,820	58,885	53,517	57,370	62,952
石段アルウィン公園内		5,555	5,669	3,728	4,408	5,771
八千代橋			1,162	5,790	6,882	10,892
石段アルウィン公園東	時間貸	2,174	1,850	420	413	1,320
	泊留	29	28	0	3	7
物聞	時間貸	22,227	23,453	17,120	18,898	23,407
	泊留	1,169	774	266	330	377
常磐		476	443	400	448	426
合 計		101,226	104,259	91,413	99,869	118,847

※ 常磐駐車場（月極）は、2月以上の利用の場合、1月につき一台と集計している。

【石段の湯の利用者内訳】

(単位：人)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
大人	57,074	58,310	24,594	27,750	41,980
小人	2,851	2,876	922	1,160	1,711
障がい者	977	1,053	681	743	916
市内高齢者	17,646	15,906	11,867	15,767	13,241
未就学児（無料）	1,055	1,103	467	496	604
合 計	79,603	79,248	38,531	45,916	58,452

(2) 収支の状況

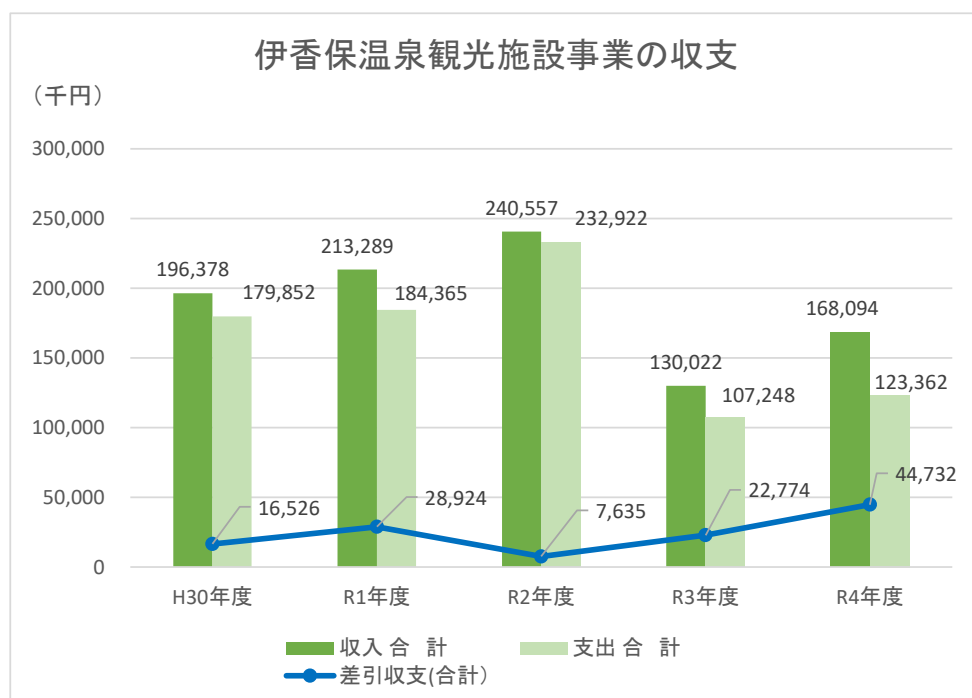
本事業の収支の推移は以下のとおりです。差引収支は過去5年ともに黒字となっています。

なお、収益的収入（支出）とは、施設を営業することによって発生する料金収入や運営に係る経費等を指します。資本的収入（支出）とは、施設の改良や設備の更新のために発行した地方債やその償還金（元金）、建設工事費等を指します。

【伊香保温泉観光施設事業の収支】

(単位：千円(税込))

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入	収益的収入	139,481	146,240	98,133	122,387	145,320
	資本的収入	33,700	50,523	113,500	0	0
	前年度繰越金	23,197	16,526	28,924	7,635	22,774
	合計	196,378	213,289	240,557	130,022	168,094
支出	収益的支出	111,342	107,818	94,665	105,639	116,788
	資本的支出	68,510	76,547	138,257	1,609	6,574
	合計	179,852	184,365	232,922	107,248	123,362
差引収支(合計)		16,526	28,924	7,635	22,774	44,732



(3) 収益的収支の状況

各施設の収益的収支の推移は以下のとおりです。事業全体では過去5年ともに黒字となっています。

各施設の数値をみると、ロープウェイは令和2年度(2020年度)は赤字となったものの、その他の年度は黒字となっています。

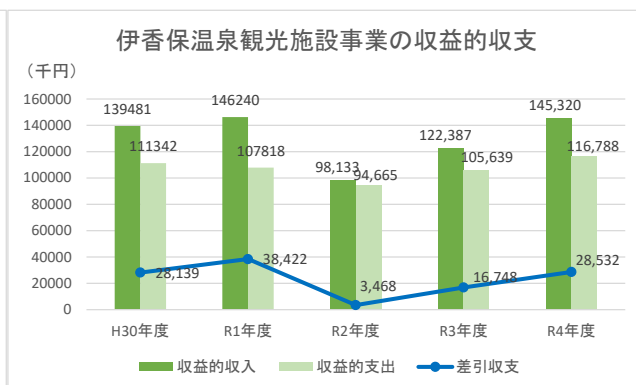
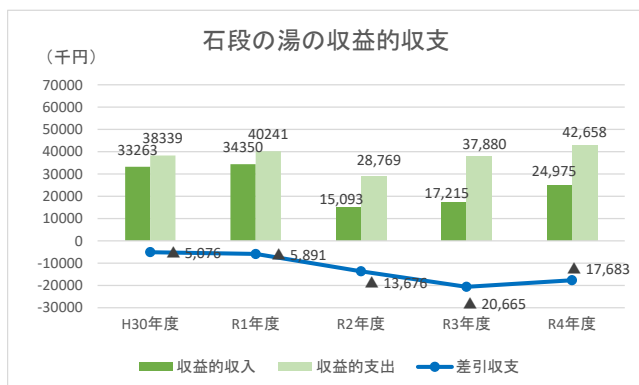
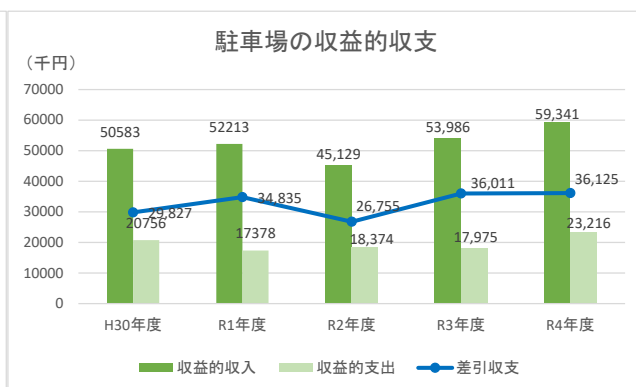
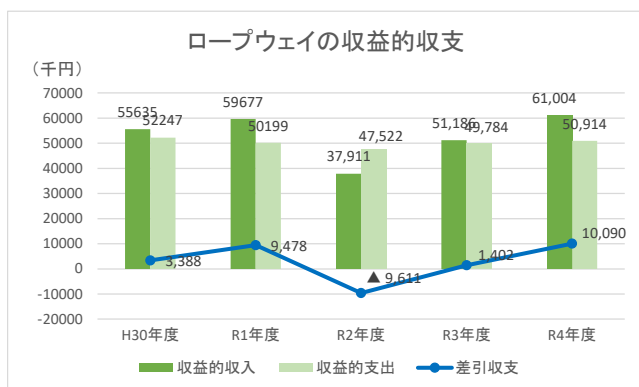
駐車場は管理経費が少ないことから、過去5年ともに大幅な黒字となっています。

石段の湯は利用料金が安価であることに加え、施設の維持管理にコストがかかることが影響し、過去5年ともに赤字となっています。

【収益的収支の推移】

(単位：千円 (税込))

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
収益的収入	ロープウェイ	55,635	59,677	37,911	51,186	61,004
	駐車場	50,583	52,213	45,129	53,986	59,341
	石段の湯	33,263	34,350	15,093	17,215	24,975
	合計	139,481	146,240	98,133	122,387	145,320
収益的支出	ロープウェイ	52,247	50,199	47,522	49,784	50,914
	駐車場	20,756	17,378	18,374	17,975	23,216
	石段の湯	38,339	40,241	28,769	37,880	42,658
	合計	111,342	107,818	94,665	105,639	116,788
差引収支 (合計)		28,139	38,422	3,468	16,748	28,532



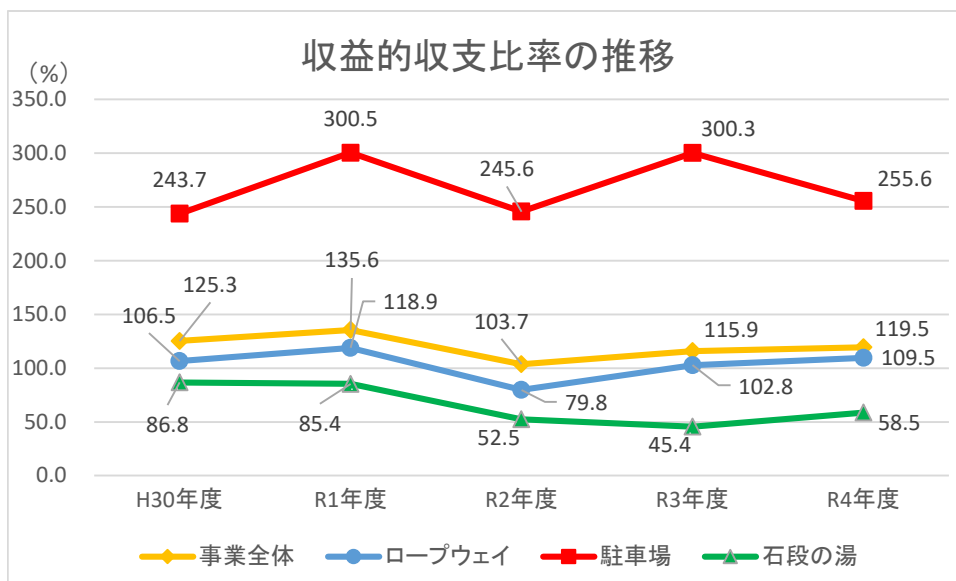
また、収益的収支比率の推移は以下のとおりです。事業全体では過去5年ともに100%を超えており、利用料収入等で運営に係る経費を賄うことができていることが分かります。

【収益的収支比率の推移】

(単位：%)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
ロープウェイ	106.5	118.9	79.8	102.8	109.5
駐車場	243.7	300.5	245.6	300.3	255.6
石段の湯	86.8	85.4	52.5	45.4	58.5
事業全体	125.3	135.6	103.7	115.9	119.5

※ 収益的収支比率 = 収益的収入 ÷ (収益的支出 + 地方債償還金) × 100
(小数点第2位を四捨五入)



(4) 資本的収支の状況

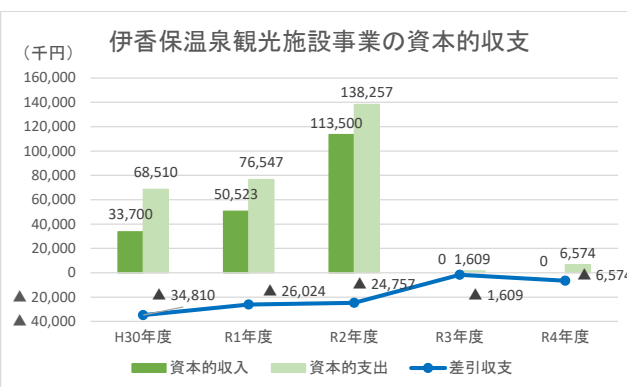
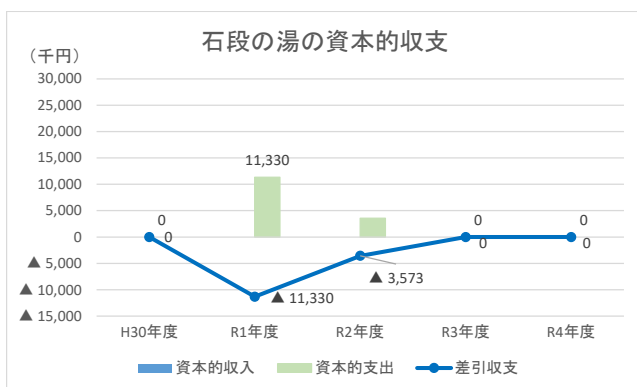
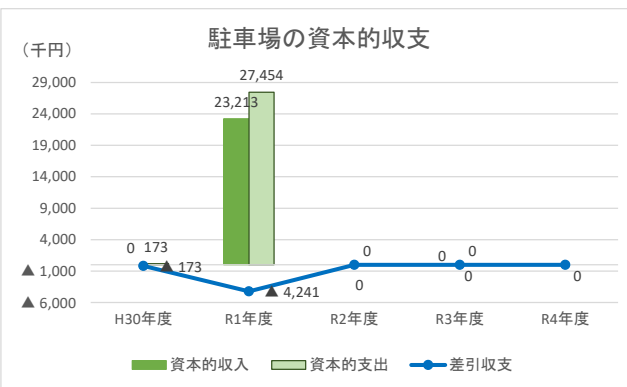
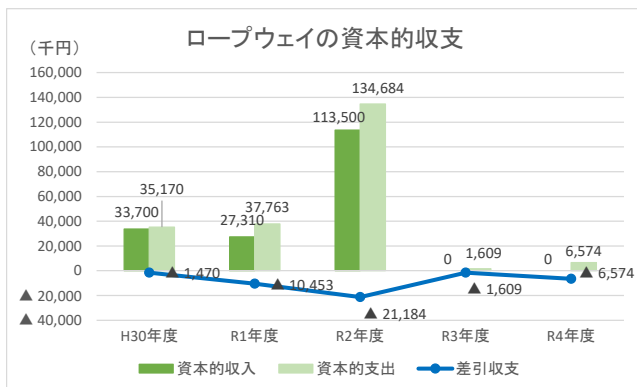
資本的収支の推移及び主な建設工事の概要は以下のとおりです。財源は、自己財源又は地方債の借入れ、補助金等により賄っています。

地方債については、平成30年度(2018年度)から令和2年度(2020年度)にかけての大規模工事に伴う借入れを毎年度行っており、元金の償還は令和4年度(2022年度)から開始しました。そのため、ロープウェイについては今後も継続的な資本的支出が見込まれます。

【資本的収支の推移】

(単位：千円(税込))

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
資本的収入	ロープウェイ	33,700	27,310	113,500	0	0
	駐車場	0	23,213	0	0	0
	石段の湯	0	0	0	0	0
	合計	33,700	50,523	113,500	0	0
資本的支出	ロープウェイ	35,170	37,763	134,684	1,609	6,574
	駐車場	173	27,454	0	0	0
	石段の湯	0	11,330	3,573	0	0
	合計	68,510	76,547	138,257	1,609	6,574
差引収支(合計)		▲ 34,810	▲ 26,024	▲ 24,757	▲ 1,609	▲ 6,574



【主な建設工事（地方債を借入れた工事）】

年度	件名	金額	地方債借入額
H30 (2018) 年度	ロープウェイ原動滑車更新工事	33,750 千円	33,700 千円
R1 (2019) 年度	ロープウェイ客車更新工事	35,200 千円	26,800 千円
	八千代橋駐車場整備工事	24,041 千円	19,800 千円
	R1 年度合計	59,241 千円	46,600 千円
R2 (2020) 年度	ロープウェイ客車更新工事	54,989 千円	113,500 千円
	ロープウェイ支索交換及びキャリア整備工事	79,695 千円	
	R2 年度合計	134,684 千円	113,500 千円
R5 (2023) 年度	ロープウェイえい索誘導滑車更新工事	30,470 千円 ※	30,400 千円 ※

※令和5年度当初予算額

3 将来の事業環境

(1) 利用者数の見通し

利用者数に大きな影響があると想定される事柄としては、「新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行」、「上信自動車道（以下「上信道」という。）の整備」、「指定管理者制度の導入」等が挙げられます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症の影響については、感染症の流行による外出自粛等の影響を強く受けた令和2年度（2020年度）は大きく利用者数が減少しま

した。その後令和3年度（2021年度）、令和4年度（2022年度）は、3事業全てにおいて利用者数は回復傾向となっています。令和5年度の数值は直近の上昇率と同水準の前年比10%の上昇を見込みます。以降は回復傾向であるものの伸び率は鈍化し、前年比1%の上昇により緩やかにコロナ禍以前の水準に戻るものと見込みます。

次に、上信道とは、渋川市から長野県東御市に至る延長約80kmの地域高規格道路で、令和2年度に金井バイパス、川島バイパスなど順次開通しており、令和7年度（2025年度）には渋川西バイパスが開通予定です。以降も、開通に向けた整備が進められる予定であり、これにより関越自動車道渋川伊香保ICから草津温泉や四万温泉へのアクセスの利便性が大きく向上するため、伊香保温泉から観光客の流出が起ることが予想されます。

具体的な影響値の算出は困難ですが、概算として各施設の前年度比としてロープウェイについては5%、駐車場については10%、石段の湯については市内高齢者以外の区分は5%減少すると見込みました。これは令和7年度の利用者数算定時に反映しています。

また、令和10年度にロープウェイの耐震化工事を予定しており、長期の運休が見込まれるため、ロープウェイのみ利用者数を20%として算定しています。

指定管理者制度については、ロープウェイの不如帰駅耐震改修工事完了後の令和11年度（2029年度）以降に導入を検討します。

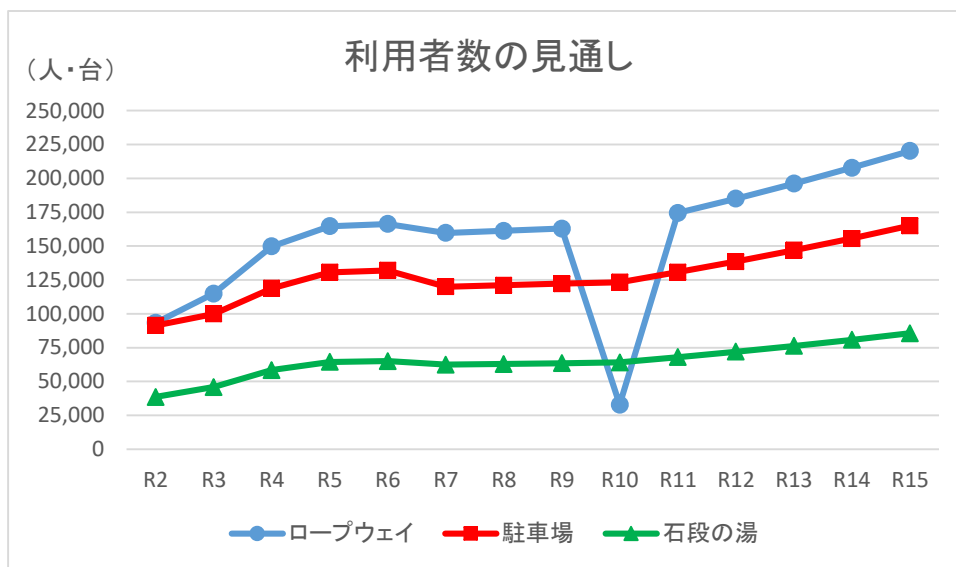
指定管理者制度を導入した場合、利用者数は、指定管理者のノウハウを活かした事業活動により、毎年度5%ずつ増えていくと見込みます。なお、利用料金制を採用するため、市の利用料収入は発生しない見込みです。代わりに、指定管理者から市に対して毎年度納付金を納めることを想定しており、市の収益的収入は確保されます。下表については、仮に令和11年度に指定管理者制度を導入した場合として算定しています。

以上の事柄を反映させた、利用者数の見通しは以下のとおりです。

【利用者数の見通し】

(単位：人 (駐車場のみ台))

	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
ロープウェイ	93,268	114,973	149,733	164,600	166,300	159,700	161,300
駐車場	91,413	99,869	118,847	130,600	132,000	120,000	121,100
石段の湯	38,531	45,916	58,452	64,400	65,000	62,400	62,900
	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)	R12年度 (2030)	R13年度 (2031)	R14年度 (2032)	R15年度 (2033)
ロープウェイ	162,900	32,900	174,500	185,000	196,100	207,900	220,200
駐車場	122,200	123,300	130,800	138,600	146,900	155,600	165,000
石段の湯	63,500	64,100	68,000	72,000	76,300	80,800	85,600



(2) 施設の更新等に関する見通し

各施設（建物）の有形固定資産減価償却率の推移は以下のとおりです。有形固定資産減価償却率とは、資産の老朽化を表す指標で、ロープウェイ、石段の湯ともに建築年数が経過し老朽化が進んでいることが分かります。今後、大規模な修繕・改修工事が増加し、そのための財源確保が課題となることが想定されます。

【有形固定資産減価償却率の推移】

単位：%

		R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	R4 年度 (2022)	有形固定資産減価償却率が 100%に到達する年度
ロープウェイ	駅舎	100.0	100.0	100.0	—
不如帰駅	案内所	54.0	56.7	59.4	令和 20 年度 (2038 年度)
ロープウェイ	当初	100.0	100.0	100.0	—
見晴駅	増築	24.0	26.0	28.0	令和 40 年度 (2058 年度)
石段の湯		85.8	88.0	90.2	令和 9 年度 (2027 年度)

※ 有形固定資産減価償却率＝減価償却累計額÷取得価額×100

(小数点第2位を四捨五入)

また、各施設の大規模修繕工事の計画は以下のとおりです。10,000 千円以上のものを抽出していますが、ロープウェイはその他にも数年おきに更新が必要な設備が複数あります。

【大規模修繕工事計画】(10,000 千円を超えることが見込まれるもの)

年度	件名	金額 (目安)
R10 (2028) 年度	ロープウェイ耐震化工事(建築主体・電気設備工事)	138,072 千円
R12 (2030) 年度	ロープウェイ支索緊張索交換工事	11,880 千円
R15 (2033) 年度	ロープウェイえい索誘導滑車更新工事	30,470 千円

第3章 経営の基本方針

1 経営の効率化、健全化について

経営の効率化、健全化を図るため、業務の内容や遂行方法等も含めて適宜見直しを行い、経費の削減、適切な定員管理等に取り組みます。

また、今後想定される大規模修繕工事等に備え、計画的な財源確保に取り組みます。

なお、昨今の物価やエネルギー料金単価の高止まりを受け、令和6年度から石段の湯では営業時間及び利用料金の見直しを行います。

具体的には、営業時間を前後1時間ずつ、計2時間短縮するとともに、料金体系を整理し値上げを行います。料金および料金体系については、運営コストの増加や周辺施設等の状況も考慮した上で決定します。これにより、収支バランスの改善を図り、効率的かつ効果的な運営を目指すことで、事業全体の経費削減に努めていく予定です。

2 施設の有効活用について

伊香保温泉の貴重な観光資源であるロープウェイ、駐車場、石段の湯をさらに有効活用するため、市内地域間及び広域圏を含めた観光連携を強化することで、新たな魅力づくりに取り組みます。

第4章 投資・財政計画

1 投資・財政計画（収支計画）

収支計画は別紙のとおりです。積算した内容は、以下のとおりです。

【収支計画の積算内容】

年度	積算内容
R5（2023）年度	<ul style="list-style-type: none">・収益的収支は、予算額を基準に見込む。・資本的収入は、ロープウェイえい索誘導滑車交換工事に伴う地方債の借入れを行う。この地方債はR6（2024）年度から10年間の償還を予定している。・資本的支出は、ロープウェイ曳索誘導滑車交換工事を実施する。地方債償還金は、償還計画のとおり支払う。
R6（2024）年度以降	<ul style="list-style-type: none">・収益的収支は、原則としてR6年度当初予算額を基準とした。ただしR10年度の料金収入はロープウェイの耐震化改修のための大規模工事に伴う運休を加味し、9ヶ月運休したR2年度の減少率74%を引用し、前年比の74%として算定した。・資本的収入は、大規模工事を予定するR10年度に地方債の借入れを行う。事業が赤字となる年度は、一般会計から繰り入れる。・資本的支出は、修繕工事計画で予定しているものを実施する。地方債償還金は、償還計画のとおり支払う。

R11(2029)年度以降	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度を導入する。 ・収益的収入は、指定管理者納付金 42,266 千円が毎年度市に納付されると見込む。指定管理者納付金は、新型コロナウイルス感染症の流行以前の H30 年度、R1 年度の収益的収支のうち、経常的でない経費（駐車場建設に伴う設計業務委託料等）を差し引いた実績の平均値から算出している。 ・収益的支出は、指定管理者制度移行後も市が支払う経費（20 万円以上の修繕、火災保険料、消費税等）を毎年度の支出として見込む。地方債の支払利息は、償還計画のとおり支払う。 ・資本的支出は、修繕工事計画で予定しているものを実施する。地方債償還金は、償還計画のとおり支払う。
---------------	--

2 収支計画のうち投資について

修繕工事計画に基づき、毎年度予定している工事を実施します。本経営戦略の対象期間の、建設改良費の合計は 229,780 千円となります。

また、大規模工事に伴い借入れた地方債の償還もあり、本経営戦略の対象期間の、地方債償還金の合計は 268,886 千円（年間平均 26,888 千円）となります。

3 収支計画のうち財源について

本計画期間では料金収入を基本的な財源としますが、事業単体で赤字となる年度については、一般会計から繰り入れを行うこととします。

なお、令和 11 年度以降から黒字経営を維持できる見込みのため、長期的には財源の確保ができると計画しています。

4 収支計画のうち投資以外の経費について

本計画期間では、人件費や水道光熱費、施設の小規模修繕等、従来通りの施設の運営経費が発生します。

第 5 章 経営戦略の事後検証、改定等

本経営戦略は、毎年度進捗管理を行うとともに、5 年に一度、その時点での経営実態や経営環境に照らし合わせて計画の見直しを行うこととします。また、社会情勢等に大きな変動があった場合は、随時見直しを行います。

今後も、当市の観光施設事業を取り巻く環境に対応した内容へ更新を続け、実行することで、効率的かつ健全な経営の維持、強化に取り組んでいきます。

収支計画

(単位:千円,%)

年 度		前々年度	前年度	本年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	
区 分		(決算)	(決算)												
収 益 的 収 入	1 総 収 益 (A)	122,387	145,320	127,754	165,350	165,350	165,350	165,350	145,023	42,266	42,266	42,266	42,266	42,266	
	(1) 営 業 収 益 (B)	113,253	144,801	127,407	164,993	164,993	164,993	164,993	122,095	0	0	0	0	0	
	ア 料 金 収 入	113,253	144,801	127,407	164,993	164,993	164,993	164,993	122,095						
	イ 受 託 工 事 収 益 (C)														
	ウ そ の 他														
	(2) 営 業 外 収 益	9,134	519	347	357	357	357	357	22,928	42,266	42,266	42,266	42,266	42,266	
	ア 他 会 計 繰 入 金	0		0					0	22,571	0	0	0	0	0
	イ そ の 他	9,134	519	347	357	357	357	357	357	42,266	42,266	42,266	42,266	42,266	
	2 総 費 用 (D)	105,639	116,788	130,743	145,073	145,002	144,919	144,830	145,023	2,778	7,011	6,580	6,443	6,443	
	(1) 営 業 費 用	105,286	109,065	121,695	139,642	139,642	139,642	139,642	139,251	1,834	2,162	1,834	1,834	1,834	
ア 職 員 給 与 費	45,942	45,754	49,521	56,346	56,346	56,346	56,346	56,346							
ウ ち 退 職 手 当						0	0	0							
イ そ の 他	59,344	63,311	72,174	83,296	83,296	83,296	83,296	82,905	1,834	2,162	1,834	1,834	1,834		
(2) 営 業 外 費 用	353	7,723	9,048	5,431	5,360	5,277	5,188	5,772	944	4,849	4,746	4,609	4,609		
ア 支 払 利 息	353	580	569	710	639	556	467	1,051	944	849	746	609	609		
ウ ち 一 時 借 入 金 利 息															
イ そ の 他		7,143	8,479	4,721	4,721	4,721	4,721	4,721	0	4,000	4,000	4,000	4,000		
3 収 支 差 引 (A)-(D) (E)	16,748	28,532	△ 2,989	20,277	20,348	20,431	20,520	△ 0	39,488	35,255	35,686	35,823	35,823		
資 本 的 収 入	1 資 本 的 収 入 (F)	0	0	30,400	13,243	0	0	10,052	176,351	0	0	0	0	0	
	(1) 地 方 債 償 還 金			30,400					125,520						
	ウ ち 資 本 費 平 準 化 債 償 還 金														
	(2) 他 会 計 補 助 金				13,243				10,052	50,831					
	(3) 他 会 計 借 入 金														
	(4) 固 定 資 産 売 却 代 金														
	(5) 国 (都 道 府 県) 補 助 金														
	(6) 工 事 負 担 金														
	(7) そ の 他														
	2 資 本 的 支 出 (G)	1,609	6,574	41,943	27,039	41,119	33,694	33,219	176,351	28,971	40,920	33,967	23,462	52,744	
(1) 建 設 改 良 費	1,609	1,760	30,470	7,459	13,431	6,006	1,188	144,320	1,760	20,361	3,597	1,188	30,470		
ウ ち 職 員 給 与 費															
(2) 地 方 債 償 還 金 (H)	0	4,814	11,473	19,580	27,688	27,688	32,031	32,031	27,211	20,559	30,370	22,274	22,274		
(3) 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金															
(4) 他 会 計 へ の 繰 出 金															
(5) そ の 他															
3 収 支 差 引 (F)-(G) (I)	△ 1,609	△ 6,574	△ 11,543	△ 13,796	△ 41,119	△ 33,694	△ 23,167	0	△ 28,971	△ 40,920	△ 33,967	△ 23,462	△ 52,744		
収 支 再 差 引 (E)+(I) (J)	15,139	21,958	△ 14,532	6,481	△ 20,771	△ 13,263	△ 2,647	0	10,517	△ 5,665	1,719	12,361	△ 16,921		
積 立 金 (K)															
前 年 度 からの 繰 越 金 (L)	7,635	22,774	44,732	30,200	36,681	15,910	2,647	0	0	10,517	4,852	6,571	18,932		
前 年 度 繰 上 充 用 金 (M)															
形 式 収 支 (J)-(K)+(L)-(M) (N)	22,774	44,732	30,200	36,681	15,910	2,647	0	0	10,517	4,852	6,571	18,932	2,011		
翌 年 度 へ 繰 り 越 す べ き 財 源 (O)	22,774	44,732	30,200	36,681	15,910	2,647	0	0	10,517	4,852	6,571	18,932	2,011		
実 質 収 支 黒 字 (P)															
(N)-(O) 赤 字 (Q)															
赤 字 比 率 ($\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100$)															
収 益 的 収 支 比 率 ($\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$)	115.85	119.50	89.83	100.42	95.75	95.80	93.49	81.91	140.94	153.30	114.39	147.18	147.18		
地 方 財 政 法 施 行 令 第 16 条 第 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 不 足 額 (R)															
営 業 収 益 一 受 託 工 事 収 益 (B)-(C) (S)	113,253	144,801	127,407	164,993	164,993	164,993	164,993	122,095	0	0	0	0	0		
地 方 財 政 法 に よ り 算 定 し た 資 金 不 足 の 比 率 ((R)/(S) × 100)															
健 全 化 法 施 行 令 第 16 条 に よ り 算 定 し た 資 金 不 足 額 (T)															
健 全 化 法 施 行 規 則 第 6 条 に 規 定 す る 解 消 可 能 資 金 不 足 額 (U)															
健 全 化 法 施 行 令 第 17 条 に よ り 算 定 し た 業 務 の 規 模 (V)															
健 全 化 法 第 22 条 に よ り 算 定 し た 資 金 不 足 比 率 ((T)/(V) × 100)															
他 会 計 借 入 金 残 高 (W)															
地 方 債 残 高 (X)	197,112	191,718	179,668	190,907	162,580	134,336	101,838	198,937	170,781	149,373	118,257	95,374	73,100		

(単位:千円) 単位:千円

○他会計繰入金

年 度		前々年度	前年度	本年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
区 分		(決算)	(決算)											
収 益 的 収 支 分	うち 基準内繰入金	0	0	0	0	0	0	0	22,571	0	0	0	0	0
	うち 基準外繰入金				0	0	0	0	22,571					
資 本 的 収 支 分	うち 基準内繰入金	0	0	0	13,243	0	0	10,052	50,831	0	0	0	0	0
	うち 基準外繰入金													
合 計		0	0	0	13,243	0	0	10,052	73,402	0	0	0	0	0

地方債償還計画

(別紙2)

単位：円

借入年度	H30	R1	R2	R5	R10	合計
借入内容	原動滑車 更新工事	客車更新工事 (R1分) 駐車場整備	客車更新工事 (R2分) 支索交換及び キヤリア部整備	曳索誘導滑車 交換工事	耐震工事 (建築・電気)	
借入額	33,700,000	46,600,000	113,500,000	30,400,000	125,520,000	349,720,000
利率	0.150%	0.300%	0.345%	0.550%	0.550%	
年度 別 償 還 額	元金					
	R3 利子	50,550	139,799	163,066		353,415
	元金	4,814,284				4,814,286
	R4 利子	48,744	139,799	391,574		580,117
	元金	4,814,284	6,658,000			11,472,284
	R5 利子	41,522	134,792	391,574		567,888
	元金	4,814,284	6,658,000	8,108,000		19,580,284
	R6 利子	34,301	115,146	392,646	167,200	709,293
	元金	4,814,284	6,658,000	16,216,000		27,688,284
	R7 利子	27,079	94,844	349,577	167,200	638,700
	元金	4,814,284	6,658,000	16,216,000		27,688,284
	R8 利子	19,858	74,870	293,632	167,200	555,560
	元金	4,814,284	6,658,000	16,216,000	4,342,857	32,031,141
	R9 利子	12,637	54,895	237,687	161,229	466,448
	元金	4,814,284	6,658,000	16,216,000	4,342,857	32,031,141
R10 利子	5,415	35,031	182,277	137,343	690,360	
元金		6,652,000	16,216,000	4,342,857	27,210,857	
R11 利子		14,948	125,796	113,457	690,360	
元金			16,216,000	4,342,857	20,558,857	
R12 利子			69,851	89,571	690,360	
元金			8,096,000	4,342,857	17,931,429	
R13 利子			13,927	65,686	665,704	
元金				4,342,857	30,370,286	
R14 利子				4,342,857	17,931,429	
元金				41,800	608,882	
R15 利子				4,342,857	17,931,429	
元金				41,800	22,274,286	
利子				4,342,857	608,882	
起債前借額						
合計(元金計+起債前借額)	33,700,000	46,600,000	113,500,000	26,057,142	35,862,858	255,720,000

(単位:千円)

	修繕等項目(工事費計上)	前回実施	耐用目安	予定年度										
				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
1	客車更新	R2	20年											
2	客車鋼鉄体検査	H26	更新後10年											
3	原動滑車更新工事	H30	適宜											
4	平衡索誘導滑車交換	H24	10年			1,500								
5	平衡索緊張滑車交換	H27	10年			1,500								
6	平衡索誘導滑車軸受交換	H29	5年			2,210					2,210			
7	平衡索緊張滑車軸受交換	H29	5年											
8	曳索誘導滑車更新	R5	10年	27,700										27,700
9	原動滑車・曳索誘導滑車軸受交換	H28	5年			5,500					5,500			
10	支索緊張索交換	H26	15年								10,800			
11	曳索・平衡索交換	H28	適宜											
12	曳索・平衡索切詰		適宜		3,012									
13	支索交換(R2は客車キャリア部整備を含む)	R2	25年											
14	主電動機オーバーホール	H27	10年				2,190							
15	主減速機オーバーホール	H29	5年				3,270					3,270		
16	客車下降窓交換工事	H25	適宜											
17	客車サスペンダー整備工	H25	10年			1,500								
18	交流・直流発電機交換	H26	15年							1,600				
19	原動滑車ゴムブロックライナー交換	H27	5年					1,080					1,080	
20	保安設備交換	H27	適宜											
21	搬器位置インジケータ整備工事		適宜						5,680					
22	支柱吊枠塗装・山頂停留場風向風速計更新				3,768									
23	耐震化工事(建築主体)(H26診断)								113,360					
24	耐震化工事(電気設備)(H26診断)								12,160					
	合計			27,700	6,780	12,210	5,460	1,080	131,200	1,600	18,510	3,270	1,080	27,700
	合計(税込)(A)			30,470	7,458	13,431	6,006	1,188	144,320	1,760	20,361	3,597	1,188	30,470

	修繕等項目(修繕費計上)	前回実施	耐用目安	予定年度										
				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
25	受索輪整備工事		適宜	1,673	1,641	1,641	1,641	1,641	1,641	1,641	1,641	1,641	1,641	1,641
26	支柱塗装	H27	7年	298							298			
27	各停留場押釦交換作業		随時											
	合計			1,971	1,641	1,641	1,641	1,641	1,641	1,641	1,939	1,641	1,641	1,641
	合計(税込)(B)			2,168	1,805	1,805	1,805	1,805	1,805	1,805	2,133	1,805	1,805	1,805

	修繕等項目(委託費計上)	前回実施	耐用目安	予定年度										
				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
28	キャリアハンガー磁粉探傷検査(R2にキャリア部整備をしたので次回はR7)	H30	5年			860					860			
29	キャリアハンガー補修	H25	適宜											
30	制御盤内点検	H30	適宜						1,961					
31	索道施設点検(業務委託)		毎年	4,195	4,250	4,250	4,250	4,250	4,250	4,250	4,250	4,250	4,250	4,250
32	索道施設油汙及び点検業務委託		毎年											
	合計			4,195	4,250	5,110	4,250	4,250	6,211	4,250	5,110	4,250	4,250	4,250
	合計(税込)(C)			4,615	4,675	5,621	4,675	4,675	6,832	4,675	5,621	4,675	4,675	4,675
	合計(税込)(A+B+C)			37,253	13,938	20,857	12,486	7,668	152,957	8,240	28,115	10,077	7,668	36,950

※金額は、安全索道(株)提供資料による